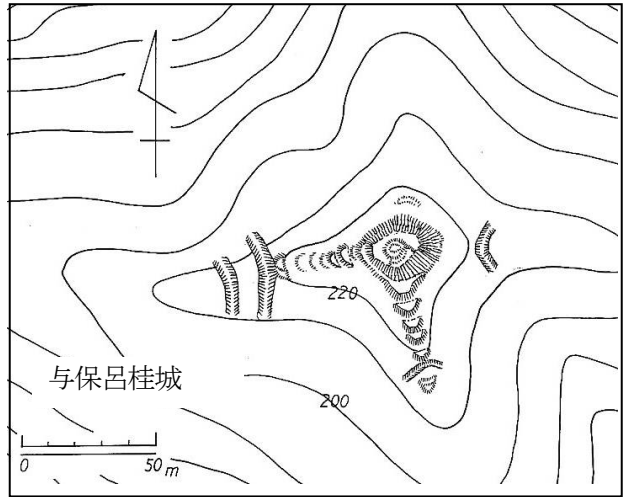


よ ほ ろ か つ ら じ ょ う
No.32 与保呂桂城

舞鶴市字与保呂小字桂他

- ・遺構---曲輪、堀切
- ・占地---山頂
- ・標高---230m
- ・比高---150m
- ・遺跡地図番号---444

この城は与保呂川の上流右岸の山頂に位置する。与保呂谷の最奥の城ではあるが、山麓には丹波上林や若狭や祖母谷に通じる道が交差する。曲輪の西側には二重の堀切、東側と南側にも一重の堀切を敷設して、長さ約80mの城域を確保している。曲輪は南方向に五段程ある。全体的に曲輪面積が狭く、縄張りからみても時代的に古いタイプの城館と考えられる。城主についての伝承や記録はない。



ひ な た じ ょ う
No.33 日向城

舞鶴市字与保呂小字立原他

- ・遺構---曲輪、堀切、土塁
- ・占地---山頂
- ・標高---170m
- ・比高---110m
- ・遺跡地図番号---443

この城は与保呂川の中流右岸に位置する。北東から派生する尾根を堀切で遮断し、主郭の堀切側には土塁を敷設し、尾根先に向って階段状に曲輪を造成している。尾根の先端は堀切で遮断し、長さ約100mの城域を確保している。尾根先の麓に位置する日向集落に関係した城館と思われる。近世の地誌類には上与保呂村の城主として羽賀隠岐守をあげるものがある。日向集落の宇留間家は近世以前には羽賀姓を称していた。

